

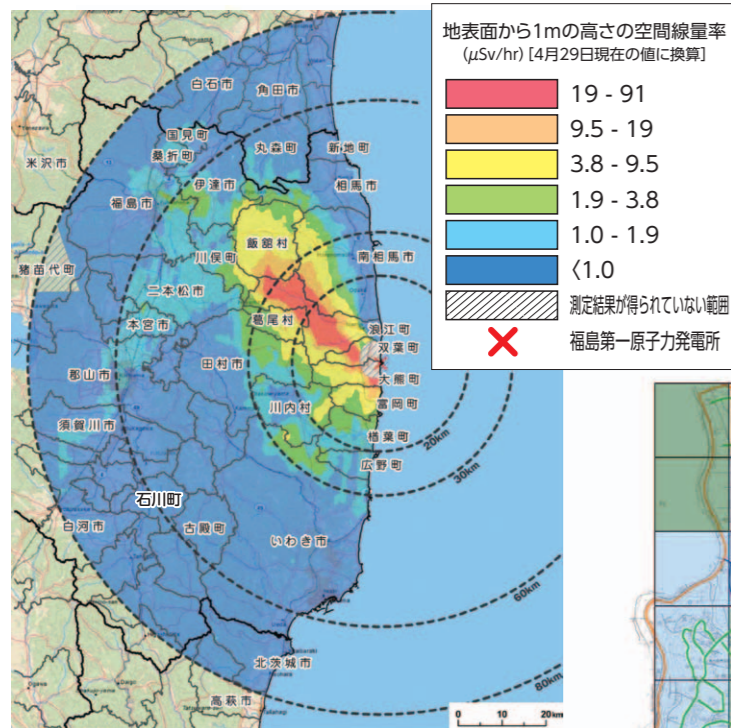
# 石川町内の放射線量を測定しました

町では町内506箇所の放射線量を測定しました。測定は500メートル×500メートルのメッシュ（観測網）を設定し、1メッシュの中の1か所を測定しました。測定は、人が通行することを考慮して歩道など道路脇を測定しました。

測定の結果、町内の多くの箇所が0.11〜0.20マイクロシーベルト/時、最も低いところでも0.10マイクロシーベルト/時でした。



- 測定日：7月20日(水)～8月15日(月)
- 町内の道路網に沿って調査を行い、地上100cmの高さを測定しました。
- 計測は、10秒ごとに5回の測定を行い、その平均値を計測値としました。
- 計測に使用した放射線測定器は、ポリマスター社製PM-1703です。（同じ測定器を各自治センター、公民館、保健センターで貸し出しています。）



▲文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果  
(福島第一原子力発電所から80km圏内の線量測定マップ)

出典：文部科学省「文部科学省及び米国エネルギー省航空機による航空機モニタリングの測定結果について」

- 0.00～0.10 μSv/h □ 2か所
- 0.11～0.15 μSv/h □ 138か所
- 0.16～0.20 μSv/h □ 287か所
- 0.21～0.25 μSv/h □ 78か所
- 0.26～0.30 μSv/h □ 1か所
- 0.31 μSv/h以上 □ 該当なし

## 石川町内の現在の数値では年間1ミリシーベルトを下回ると推計されます

今回の測定で一番高かった0.27マイクロシーベルト/時で年間に受ける放射線量を推計すると、年間0.78ミリシーベルト（779.12マイクロシーベルト/年）となり国際放射線防護委員会（ICRP）が提言する平常時における年間1ミリシーベルト（自然放射線と医療により受ける放射線を除く）を下回ります。

※1日のうち8時間は屋外で活動、16時間は建物内で活動すると仮定し、屋内では40%の放射線を受けるとして計算します。  
※自然放射線は、宇宙からの放射線を300マイクロシーベルト/年、大地からの放射線を340マイクロシーベルト/年とします。（独立行政法人放射線医学総合研究所「放射線シリーズ-5地域によって異なる自然放射線の量」より）

$$(0.27 \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{時間} \times 365 \text{日} + 0.27 \mu\text{Sv}/\text{時} \times 40\% \times 16 \text{時間} \times 365 \text{日}) - (300 \mu\text{Sv}/\text{年} + 340 \mu\text{Sv}/\text{年}) = 779.12 \mu\text{Sv}/\text{年}$$